

成果指標				
成果指標	交通安全街頭指導及び学校での自転車交通安全指導回数			
指標設定の考え方	市民に対する交通安全思想の啓蒙活動及び通学・通園路における児童生徒に対する交通安全のための街頭指導を基本として活動している。また、道路交通法の改正による自転車の交通安全指導も加えた指導回数を成果指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	30	40	40	0
実績	28	34	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後、事故多発箇所や事故が起こりやすい夕暮れ時の街頭指導を強化していくことが、交通事故減少につながると思われる。 また、引き続き学校での自転車交通安全教室を継続していくとともに、登下校時刻に合わせた街頭指導を行い、ヘルメット着用及び正しい自転車の交通ルール遵守を呼びかけていくことも大切である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域での街頭指導、交通安全指導等に取り組むことで、市民への交通安全の啓発・周知に取り組む必要がある。併せて指導員の意識改革や啓発を促す必要性もある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題